

# 市、健康優良法人に

## 北海道・東北の自治体で初

【江別】江別市は、従業員の健康増進に取り組む企業や法人を経済産業省が認定する「2020年健康経営優良法人」に北海道・東北地方の自治体として初めて認定された。江別市は2017年4月に「健康都市」を宣言し、市民の健康づくりを掲げている。その旗振り役となる市職員の健康にも配慮していることが評価された。

制度は従業員の健康増進対策が、従業員の活力や生産性を向上させ、業績や組織の価値の向上につながる狙いで17年度に始まった。受動喫煙対策やストレスチェック、過重労働対策の実施、ワークライフバランスの取り組みなどの基準を満たすことが条件。昨年11月に申請し、経済産省所管の任意団体が審査した。

認定は従業員101人以上(自治体は301人以上)の大規模法人部門と100人以下の中小規模法人の2

部門。江別市役所は従業員1402人(正職員812人、非常勤・臨時職員590人)の大規模法人部門で、20年に道内で認定された伊藤組土建、岩田地崎建設、トヨタ自動車北海道、デンソー北海道、北洋銀行、北海道銀行、北海道電力など27社・団体の一つ。全国で



市職員の健康増進に取り組む「健康経営優良法人」に東北北海道の自治体で初めて選ばれた江別市

20年に認定された大規模法人は1481で、うち自治体は江別市を含めて神奈川県小田原市、滋賀県草津市、愛媛県西条市、福岡県みやま市の計5市。

一方、中小規模法人部門は道内で163法人・団体が認定され、江別市内では江別製粉(4年連続)と日江金属(初)。全国では4723法人・団体が認定された。

市が認定されたことについて三好昇市長は「市職員の健康増進や職場環境改善に努めるとともに、市内の家庭や学校、職場での健康増進活動に地域と一体となって取り組む」と話す。

(山本哲朗)